

第21回(2018年度)

七十七
ニュービジネス
助成金

株式会社OLPASO



代表取締役
佐藤 満 氏

●企業の概要

企業名：株式会社OLPASO

代表者：代表取締役 佐藤 満

住所：宮城県仙台市青葉区五橋1-4-24
ライオンズビル五橋6F

設立年：2009年

業種：医療関連機器の開発・製造・販売

資本金：28百万円

従業員数：4名

●事業の概要

当社は病院等の採血現場で業務をサポートする採血管準備装置の開発・製造を行う。採血患者の待ち時間の短縮や採血管の取り間違い防止に役立つ製品「olpaso.1+」を開発、さらに検体搬送ロボットの早期製品化を目指す。



本社入居ビル「ライオンズビル五橋」



採血管

小型で価格競争力のある自動採血管準備装置「olpaso.1+」で採血現場の生産性向上を実現、海外市場へ販路拡大を目指す



自律自走式ロボット「La. Puta」ラピュータ

国際医療機器展示会の様子

●受賞の理由

従来の採血支援装置は、1室に1台しか設置されないもので、看護師などの採血作業者は作業台から装置の設置場所まで移動し、また作業台まで戻る必要があった。また採血管はその都度準備されるものではないため、あらかじめラベルが貼られた患者ごとの採血管を探す手間もかかり、特に採血管を間違えるリスクもあった。

当社が開発した「olpaso.1+」は、特許を取得している「リアルタイム発行機能」により、採血作業者がタッチディスプレイを操作すると、その都度自動的に患者ごとの検体ラベルをプリントして採血管に貼り付け、それをトレイへ収納し採血作業者に供給、さらに患者の呼出・案内も同時に行う。1台を2名で使用でき、採血作業者は採血を行うその場で採血管を受け取るため、患者の待ち時間削減につながるうえに、検体を取り違えるリスクを回避できる。また、必要な機能を1台にすべて搭載したコンパクトオールインワン型で、同スペックの製品としては世界最小サイズ、加えて競合他社製品より2～3割安価であるため、病院に合わせた設置・運用が可能となっており、製品の評価は高い。国内で病院への販売を行う一方で、海外市場をターゲットと見据えており、既にトルコや中国など6か国で販売を開始。商社との提携により販売地域の更なる拡大を図り、将来的には世界シェア20%を目標としている。

また、採血管回収における問題点解決のため、自律自走式ロボット「La. Puta」ラピュータを開発中である。リアルタイムでの安全な検体回収と搬送中の検体情報送信・仕分けチェック機能を搭載し、医療現場の更なる生産性向上に期待されており、早期事業化を目指す。

当社は医療現場が抱える課題を解決する機能・コスト面に優れた製品を開発しており、今後海外展開において更なる成長が期待できるベンチャー企業である。